

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

全国各地をオンラインでつなぐ園児交流イベントを開催 こどもたちが暮らす地域の特性や地域多様性への興味・関心を養う

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスのグループ企業である株式会社日本保育サービスでは、2月24日（水）に、全国各地の保育園をオンラインでつなぐ交流イベントを開催しました。当社グループでは、全国に301の子育て支援施設を展開する強みを活かし、様々な体験をこどもたちに提供することで、こどもたちの興味・関心を引き出す保育・育成を実践しています。北海道から沖縄まで計4園をつないだ今回のオンライン交流イベントでは、園児たちが各園の特徴や地域の自然を紹介しました。園児たちにとっては、初めて話す「全国のお友達」との交流を楽しみながら地域の多様性に触れる機会となりました。

◆北海道から沖縄まで計4園をつなぎ、全国の友達と交流◆

今回のオンライン交流イベントには、日本保育サービスが運営するアスク桑園保育園（北海道札幌市）、アスク富沢保育園（宮城県仙台市）、アスク曽根南保育園（大阪府豊中市）、アスクこくば保育園（沖縄県那覇市）の4園が参加しました。



【各園の発表の様子】

（写真上段左：アスク桑園保育園 右：アスク富沢保育園 下段左：アスク曽根南保育園 右：アスクこくば保育園）

イベントでは、各園順番に10分ずつ、園の特徴や地域の自然などの紹介を行いました。アスク桑園保育園では雪遊びの様子、アスク富沢保育園では園で毎年 年長クラスが取り組むソーラン節、アスク曽根南保育園では大阪名物を紹介する手遊びや園のすぐ側を走る阪急電車の紹介、アスクこくば保育園では温暖な気候の紹介や「みんなともだち」の歌の披露などが行われました。

交流会に向け、各園でどんな内容を紹介するか話し合い、準備を重ねる時間は、園児たちにとって自分が暮らす地域に改めて興味・関心を持つ良い機会となりました。交流会当日は、普段目にする機会の少ない他地域の様子に興味深く見入っており、会の最後には画面越しにお互いに手を振り合うなど、全国の友達との交流を楽しみました。コロナ禍で近隣園との交流が制限される中、オンラインならではの全国規模の交流会となりました。今後もオンライン交流会は継続して実施する予定です。

JP ホールディングスグループでは、これからも、地域に根差した子育て支援施設を目指すと共に、こどもたちが周囲の環境に興味・関心を持って自ら関わろうとする意欲を支え、自信を育む保育・育成を実践してまいります。

■株式会社 JP ホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証1部上場・証券コード 2749）です。運営施設数はグループ全体で301施設となります（2021年2月1日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究・コンサルティングなどを行う株式会社日本保育総合研究所などがあります。

詳細はこちら（<https://www.jp-holdings.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部

広報IR部 都志・牛田・筒場

TEL：03-6433-9515 FAX：03-6455-8032

MAIL：jphd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>